

令和元年度第14回政策会議概要

- 1 開催日時：令和2年3月27日（金）9：15～9：35
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり
（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

議題1 人材育成等にかかる計画について

●後田課長【人事課】（資料1に基づき説明）

各部局職員から構成する「『三重県職員人づくり基本方針』改定ワーキンググループ」の報告書をふまえて、「三重県職員人づくり基本方針」を改定した。5つの実践方策と当面の3つの重点取組をまとめたので、これらに基づき進めていきたい。

「次世代育成のための三重県特定事業主行動計画（第2次後期計画）」は、現在、男性の育児休業取得率等を目標に取り組んできた。引き続き、男性の育児休業取得率、男性の育児参加休暇等を目標に取り組むこととしている。また、男性職員の子育てのための休暇・休業取得促進プログラムに基づき今後も進めたい。

「三重県職員障がい者活躍推進計画」は法改正等をふまえてまとめた。雇用率、定着状況の目標達成に向けて取り組みたい。また、三重県障がい者活躍推進チームによる推進体制を構築し、政策会議でも進捗状況は報告したい。

☆福永戦略企画部長

1月に知事が行った「男性育休100%宣言」と今回の目標の関係はどうなっているのか。

●後田課長

主指標の男性の育児休業取得率と副指標の育児参加休暇取得率の合計が100%となることをめざしている。

議題2 ワーク・ライフ・マネジメントの推進について

●佐藤課長【行財政改革推進課】（資料2に基づき説明）

中央労使協働委員会での議論を共有する。今年度は突発的な行政ニーズが生じたこともあり、その影響を最小限にするためマネジメントを進めていただいている。

今後の推進については、基本的な考え方を継承しつつ、めざす姿の共有や推進項目等の重点化を図っていく。

☆大橋子ども・福祉部長

非常時の行政ニーズに積極的な対応をしていくためにも、日頃から業務の見直しが必要で

ある、というような前向きなメッセージが職員に伝わるようにしてはどうか。

●佐藤課長

今後、表現の工夫をしていきたい。

議題3 「県民の声を受けて」公表分の概要について

●福永戦略企画部長（資料3に基づき説明）

2月17日、3月2日及び3月16日に県Webで公表した「県民の声」の概要で、声の件数は51件、対応件数は56件となっている。

主な内容として、職員に関する意見・苦情が多く上がっている。職員の対応については複数所属の対応があり、実質3件、服装、勤務については1件、行動・マナーについては実質2件となっている。

また、今回は新型コロナウイルスに関するご意見を多くいただいており、一覧表のNo.14～19、54が該当している。

極めて深刻な事態に、県民のみなさんの不安も増大していると思われるので、各部局においては、いただいたご意見に丁寧に対応いただくようお願いする。

（質疑等なし）

以上